

「腐食の電気化学と測定法」 正誤表

〔初版 1刷〕 図表等の↓は上から，↑は下から数える．

ページ	図表等	誤	正
14	式(2.8)	$-F\Delta\phi_R$	$+F\Delta\phi_R$
29	図 3-3 横軸	速度 v (ms)	速度 v (m s ⁻¹)
111	図 4-41 縦軸	($\times 10^{-2} \Omega / \text{cm}^2$)	($\times 10^{-2} \Omega^{-1} \text{cm}^{-2}$)
179	↓ 19	Epelboin らは,	Epelboin, Keddham らのグループは,
192	↓ 15 見出し	Niquist 図	Nyquist 図
199	図 6-2	三電極法に電気化学	三電極法による電気化学
216	図 6-18 縦軸	(Ωcm^2)	($\Omega^{-1} \text{cm}^{-2}$)
216	2 行目	・・・拡大したものである。	・・・拡大したものである (以下では $1/R_p$ を腐食速度と表記する)。
240	図 6-43 (a),(b)	200 mA	200 μA
242	表 6-2 (ヒューイ試験)	条件：沸騰 48 h \times 5 p	条件：沸騰 48 h, 5 回繰り返す
244	図 6-46 縦軸	電流密度 $\log i$	電流 $\log i$

(2017.12.30 発行, 2021.6.21 更新)